

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 24 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・定住人口を確保するため、市外に向けて本市の魅力や移住支援等の情報発信を行う。また移住する際の支援策等を関係機関（移住・交流推進機構、ふるさとサーチ、ちばの暮らし、全国移住ナビ）と連携するとともに、ワンストップで支援し、移住の促進を図る。	④ 事務事業に関する課題・環境の変化 定住促進奨励金や子育て支援施策があるが、それらの施策を効果的に市外に向けてPRできていない。
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等 特になし。

従事職員数 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)	ア	セミナー及び視察等への参加回数	回	7	5	2	2
	・移住セミナーや研修会への参加							
	・シティプロモーションサイトの管理、更新							
		イ	定住支援情報を発信している箇所数 (関係機関HP、パンフレット設置箇所等)	箇所	6	6	4	4

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
目的	対象	ア	移住相談件数	件	46	54	53	49
	意図							50
	対象	イ	転入者(定住促進奨励金利用)	人	110	110	99	126
	意図							130
			定住促進奨励金を利用し、本市へ転入する。					

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			(11)
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア (人数)	イ (人数)
H29	46	100
H30	54	100
R1	53	95
R2	49	115
R3計画	50	118

評価内容	① 進捗状況												
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難												
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)												
	② 成果の状況												
	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	成果比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
成果指標イ	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	29年度		30年度	1年度	2年度	3計画	
【コメント】 (低下の場合、その理由)	定住促進奨励金利用者数は増加しており、制度周知効果があり問い合わせ件数が減ったと考えられる						成果動向	ア	1	8	△1	△4	1
							イ	△14	0	△11	27	4	
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性										
	通年	・移住セミナー等へ参加しPRを実施 ・シティプロモーションサイトの更新、見直し	通年	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()							
				・移住セミナー等へ参加しPRを実施 ・シティプロモーションサイトの更新、見直し									